

『カテキヨのJKお姉ちゃん!』

(企画当初の脚本。変更点有)

親に用意された家庭教師は、近所に住む明るく優しいJKお姉さん。

春から始まった週に一度の授業も、今日で既に数度目。お姉さんに憧れとも恋心ともつかぬ仄かな感情を持つ主人公だが、彼女の肢体を心に浮かべて吐き出した初めての精を、よりにもよって本人に見つかってしまい…。

■キャラ設定

●早坂さくら (本作のヒロイン)

・身長 157 cm

・体重 50 キロ前後でやせ型

・一人称 わたし

・設定年齢は 1 ● 歳

・髪はボブでバストはDカップ。普段は優しいお姉さんタイプだが、スイッチが入ると蠱惑的な魅力を表情に宿す。他者の支配に快感を覚え、手の中でもだえる可愛い存在を愛でて遊ぶ。その欲求の解消に彼氏を作ったが、すぐに新しいオモチャを発見する。

1 頭が良く高偏差値の●校に通っている。
2 父母は共働きで比較的裕福。しかし満たされている故の物足りな
3 さはいつも感じていた。なにかが物足りないまま、人生を歩んでい
4 くのか……。空虚な気持ちで、日々を過ごすさくら。
5 しかし欲求を満たす転機は、小学生の頃に飼った犬からもたらさ
6 れた。
7 両親が長期不在時、犬はさくらに対し従順だった。エサをやれば
8 千切れるほど尾を振り、エサを抜けばさがるような瞳で自分を見つ
9 めてくる。生きるにはさくらに依存する他なく、他者を支配する興
10 奮は一瞬でさくらの背筋を駆け上った。
11 以来、さくらはこの歪な支配欲を常に抱えて生きている。普段、
12 優しい女の子を演じているのは処世術でもあった。
13 付き合い始めた和也は籠絡に時間がかかるだろう。それよりも家
14 庭教師として雇われた、●学六年生の少年。純粹で、穢れを知らず、
15 真っすぐな目。初めて興奮を覚えたあの犬に似ている。この子なら
16 ……。

1 ●主人公
2 ・身長 1 4 5 cm
3 ・体重 3 8 キロ前後。体形は普通
4 ・設定年齢は●●歳の●学六年生
5 ・庇護欲をくすぐる大きな瞳
6 ・暗いキャラというほどでもないが、それほど活発な性格でもない。
7 ゲームが趣味で、去年までは自宅や友人宅でよく遊んでいた。
8 成績は中くらい。仲の良い友人はみんな中受するらしく、最近は
9 孤独を感じている。
10 本人に●受の意志はないが、親の焦りから家庭教師を付けられる
11 ことに。自由が制限され乗り気ではなかったが、やってきた家庭教
12 師は見覚えのある近所のJK、早坂さくらだった。
13 初めての授業から彼女に憧れを持つようになり、期待に応えたい
14 と思っている。
15
16 ●進藤和也
17 ・身長 1 7 3 cm
18 ・体重 6 3 キロ前後。体形はがっしり型
19 ・設定年齢は 1 6 歳、さくらと同級だが違う高校
20 ・いわゆる陽キャで他人との距離が近い。だいぶ年下の主人公にも
21 対等に接するお兄さん
22 ・声がデカい脳筋
23 ・さくらにベタ惚れ。従順。人懐っこい
24 ・物事に対し、なにかを疑えるレベルまで考えるのが苦手

1 ■トラック1 誘惑の耳舐めプレイ 20分程度

2 場所…主人公の部屋

3 春から始まったさくらによる家庭教師も六回目を数える。初回から
4 物理的に距離が近いさくらを想像し、主人公はつい一時間前に精通
5 を済ませたばかり。まだ動揺も興奮も冷めてはいない中でさくらが
6 やってきて……。

8 SE ドアをノックする音

10 【10】

11 さくら 「さくらだよー。入っていいーい？」

13 SE ガタガタと慌ただしい物音

15 さくら 「なーに？ バタバタしちゃって。」

16 さては、家庭教師の時間忘れてたな？」

18 SE ドアを開く音、ドアが閉まる音

20 さくら 「って……なーんだ。ちゃんと勉強の準備できてるじゃん。

21 えらいえらい。【16から11に移動しながら】

22 じゃあ、隣に失礼しまーす。

23 ……よいしょっと」

1 【 6 】

2 SE 衣擦れの音

3
4 やくら 「えー、どうしてそっちに座るの？

5 テーブルの向こうじゃ、君の字が見えないよ。

6 ほらあ、問題集も逆さになって読みにくいから。

7 【ややゆっくり、誘うように】

8 だから、いつもみたいにこっち。隣においでよ。

9 ぎゅーっとくつついて、勉強しよ？

10 ……んー？ どうして来てくれないのかなー。

11 あ、わたしの制服が夏服になったから、照れてる感じ？

12 可愛いなあ、もう。

13 だけど、いまから勉強するんだからね。

14 ちゃんとしないと。

15 そっちがその気なら、わたしが捕まえちゃうよ。

16 いくよー……【溜めを作る】。

17 えいっ！ って、あ！」

18

19 SE いみ箱が倒れるガタッ音。

20

21 やくら 「ごめーん、ごみ箱倒しちゃった。片付けるね。

22 って、うわっ！」

23

24

1 SE なにかを慌てて奪い取るガタガタ音

3 【 1 】

4 やくら 「びっくりしたあ。

5 そんなに慌てて片付けなくてもいいじゃない。

6 でもね……。

7 【 明るく 】

8 つーかまーえたっ」

10 SE 大きな衣擦れの音

12 やくら 「ふふ。

13 君の体、熱くなってるね。

14 どうしてかなー。

15 お姉さんに、

16 ゴミ箱片付けてほしくない理由でもあったかな？

17 たとえばあ。

18 部屋に入った瞬間から、すごい匂うティッシュとか？

19 ダメだよ。こういうのは、

20 ぎゅっと閉めた袋に入れて捨てない」と

1 【1】

2 さくら 「【ここから声のトーンを徐々に囁き調に、ゆっくりと】

3 ねえ。一人で気持ちいいこと、しちやったの？

4 真っ赤になって……。

5 分かるよ。君よりお姉さんだもん。

6 それに君のことは、よく知ってるの。

7 さっきのティッシュが、初めてだってことも。

8 【甘い声で】

9 ねえ、なにを使って気持ちよくなったの？

10 えっちなサイト？ それとも……

11

12 【3 吐息のような声で、耳元に囁くように】

13 さくら 「前の授業でじいっと見てた、わたしのパンツ？」

14

15 【3】

16 さくら 「もちろん知ってたよ。見られてるの。

17 可愛い可愛い、君の視線だもん。ちよっと感じちやった。

18 でもね、わたしちよっと怒ってるんだよねー。

19 だって君、わたしに内緒にして、

20 一人で気持ちいいこと、覚えちゃったんだもん。

21 わたしに相談してくれたら、

22 もっともっと気持ちよくなる方法、

23 教えてあげたのになあ。

24 いまから、してみる？」

1 【3】

2 さくら 「ふふ……。答えにくいか。

3 じゃあ、

4 わたしにえっちな授業して欲しかったらねえ……。」

5

6 【3 耳元で囁くように】

7 さくら 「そのまま動かないで、じっとしてて。

8 ふふ……。くすぐったい？

9 耳元でしゃべられると、ゾクゾクしちゃうよねえ。

10 でも我慢して。

11 ……ふー【耳に息を吹きかける】

12 ふふ、ビクってなった。

13 でも、そのまま……。うん、そう。

14 かわいいね、素直ないい子って大好き。

15 ご褒美に、頭ナデナデしながら耳、舐めてあげる」

16

17 SE 髪を撫でる

18

19 【1分ほど耳舐め】

20

21

22

23

24

1 【3 引き続き舐めながら】
2 さくら 「ん……、ふう……。
3 どう？ 気持ちいい？
4 ……そう。嬉しいな。
5 お姉さんも、君の真っ赤な顔を見てたら、
6 興奮してきちゃった。
7 じゃあ次は——」

8
9
10 【3↓7 移動しながら】
11 さくら 「こっちのお耳。

12 【右耳に迫りつつ】
13 たあっぷり、気持ちよくなってね」
14

15 【一分ほど耳舐め】

16 【7 引き続き耳を舐めつつ、耳たぶへのキスを混ぜる】
17 さくら 「ん……ん。……あれ？

18 【ウイスパーパーボイスで】
19 君のおちんちん、……もう硬くなってる」
20

21 【主人公、謝る】
22

23
24

1 【2】

2 さくら 【優しく】謝らないで。ダメじゃないよ。

3 君だって、男の子だもん。

4 むしろお……」

5

6 【3 耳元】

7 さくら 「もっと元気になってくれたら、わたしは嬉しいけどな。

8 ふふ……どう？ 頑張れる？

9 じゃあ……、もしもわたしの彼氏より固くできたらさ、

10 特別なご褒美あげようかな。

11 そうだなあ……おっぱい、見せてあげる。

12 じゃあもう一回、こっちのお耳から舐めてあげるよ……」

13

14 【一分ほど耳舐め】

15

16 【3 少し離れて】

17 さくら 「わ……すごい。

18 どんどん硬くなってくる。

19 もしかして、耳舐められただけでイっちゃいそう？

20 かわいい、かわいい【耳ちゅっちゅ】」

21

22

23

24

1 【3】

2 さくら 「ん？ あれえ？

3 ねえ、気づいてる？

4 君の乳首、女の子みたいにたっちゃってる♥

5 Tシャツの上からでもはつきりわかるくらい♥

6 んーん。恥ずかしがらなくていいよ。

7 こっちの、とっても可愛い乳首もいじめてあげる。

8 ほら、Tシャツまくって」

9

10 SE 衣擦れの音

11

12 【2 やや下を見ながら】

13 さくら 「ふふ、ちっちゃい乳首。

14 ほーら、指先でくりくりすると…：アハ♥

15 腰、びくびくってなっちゃうねえ。

16 こわい？ 指だとちよっと、刺激つよすぎるかなあ。

17 じゃあ…：もっとやさしくしてあげる。

18 わたしの舌と、唇で」

19

20 【1分ほど主人公の乳首を舐めたり吸ったり】

21

22

23

24

1 【1 胸の位置から主人公を見上げる】

2 やくら 「ふふふ。」

3 ズボンの上からでも分かるよ。

4 おちんちん、もうすっごい硬くなってる。

5 ……ねえ」

6

7 【7 耳元で囁くように】

8 さくら 「君のおちんちん、お姉さんに見せてくれる？

9 恥ずかしい？

10 そうだね。

11 君だけ恥ずかしいところ見られるなんて、嫌だよね。

12 じゃあ…：わたしのブラウスも脱がせていいよ♥

13 彼氏より硬くできたら、

14 おっぱい見せてあげる約束だもんね。

15 ほら、ブラウスのボタン外して。

16 そう、あせらないで大丈夫だから」

17

18 S E ボタン外す

19 S E 衣擦れ

20

21

22

23

24

1 【7】

2 さくら 「ん……？ ブラも外していいんだよ？

3 ほら、背中の方にホックあるから。

4 お姉ちゃんの胸にぎゅーって顔押し付けて。

5 あは♡

6 そうそう。一生懸命でかわいい。

7 がんばれ、がんばれ♡」

8

9 S E ホックが外れる

10

11 【1】

12 さくら 「あ……

13 ふふ……上手にはずせたね。

14 じゃあ、ほら。お姉さんのおっぱい、見ていいよ。

15 おっぱい見たんだから、君もズボンぬぎぬぎしようね」

16

17 S E ズボンとパンツ脱ぐ

18

19 さくら 「上手にぬぎぬぎできたねえ。えらいえらい♡

20 じゃあ、ちよつと触っただけで爆発しちゃいそうな、

21 君のおちんちん、

22 お姉さんがいい子いい子してあげる♡」

23

24

SE 手こきのシュシュ音を背景に

【 7 】

さくら 「【甘い口調で】

ほうら。シコシコ、シコシコ ♡

気持ちいい？

しこしこするたびに、

腰がビクビク跳ねちゃってる。

もっと聞かせて。女の気みたいにかわいい声。

シコシコ、シコシコ ♡

シコシコ、シコシコ ♡

あ、まだだよ。まだ出しちゃダメ。

【クスクス笑いながら】なんでって……。

まだおっぱい触ってないのに、出していいの？

君が出しちやったら、この授業はもうおしまい。

でも我慢できるんだったら……」

【 7 耳元で 】

さくら 「おっぱい、好きにしていいいよ」

1 【7 誘惑する口調で】

2 さくら 「揉んでも…、乳首つまんでも…舐めても…

3 君のしたいように…。

4 【急に触られて驚く】あっ…！！」

5

6

7 さくら 「あは♥

8 そんなに乳首、舐めたかったの？

9 ちゅうちゅう、ちゅうちゅう、あかちゃんみたい♥

10 ん…。あっ。うんっ…

11 すご…：やさし…

12 初めてだから、もっと乱暴にされると思ってたのに、

13 彼氏より、ずっと…：あ、ああ…：っ

14 ん、ね…：もう片っぱも、さわっていいよ。

15 そう。乳首舐めながら、指でくりくりって…

16 あ♥♥ そう…：じょうず…

17 きもちい…：あ、あ…：ッ！【軽くイク】」

18

19 S E 跳ねるような衣擦れ

20

21 【1 上から見下ろすように】

22 さくら 「はあ…：はあ…

23 ん…：大丈夫。痛かったんじゃないよ。

24 君があんまり上手だから、気持ちよくなっちゃっただけ」

1 【1】

2 さくら 「ねえ……キス、教えてあげようか。

3 大人同士がする、えっちなキス。

4 ふふ……興味津々だ♥

5 じゃあ……口明けて、舌出して。べえって」

6

7 【30秒ほどディープキス】

8

9 【1 キスしながら】

10 さくら 「はあ……。美味しい、君の舌……。ん、んう……。

11 いいよ、キスしながら、おっぱい触っても。

12 わたしもおちんちん触ってあげる♥」

13

14 SE ゆるゆる手コキ

15 【30秒ほどディープキス】

16

17 【1】

18 さくら 「ぶはっ。

19 【甘えるように】

20 キスも、上手にできたね。

21 とっても優しくて、丁寧で……感じちゃった♥

22 君も、もうおちんちんからミルク、出したいよね？

23 じゃあ、最後はお耳ぺろぺろしながら、

24 おちんちんよしよししてあげる」

1 SE 衣擦れの音

3 【3】

4 さくら 「そうだ。おねえちゃんとゲームしよっか。

5 おねえちゃんが十秒数えるまで、

6 イカないようにするゲーム。

7 ちゃんとゼロまで我慢できたら…

8 またこうやって、えっちな授業してあげる。

9 じゃあ、いくよお。十…

11 SE 手コキ速度アップ

13 【耳舐めながら、約十秒ごとにカウントダウン。

14 ときおり耳たぶへのキスや吐息を吹きかけるように】

16 さくら 「九、八、七、六、五、四、三、二、一…

17 いくよ…。【強く】せーの、ゼロ！ ゼロ！ ゼロ！

18 ほーら！ 我慢してた恥ずかしいおちんぼミルク、

19 お姉さんの手にゼーんぶ出しちゃえ♥」

21 SE 射精音5秒くらい

1 【3 耳にちゅっちゅしながら 少し息を荒らげ】
2 さくら 「すごいたくさん出ちゃったねえ。
3 よしよし。えらいえらい。
4 ふふ、すごいにおい。
5 男の子の臭い。君の臭い。……ん、れろ……。
6 美味しい♥」
7
8 さくら 「……ねえ。約束できる？
9 これからは、
10 わたしといるとき以外はオナニーしないって。
11 どんなにしくなっても、我慢するって。
12 そしたら次は、もっとすごいことしてあげる。
13 ……うん、えらいっ。素直な子、好きだよ。
14 じゃあ、指切りね。
15 ……ねえ。
16 このことは、二人だけの秘密だよ？」
17

1 ■トラック2 彼氏の家でフェラチオ 20分程度

2 場所…さくらの彼氏、和也の部屋
3 いつものように友達と公園経由で下校する主人公。しかし中受する
4 友人たちは塾通いのため、放課後は遊べないと別れてしまう。一人、
5 公園でたそがれる主人公。そこへさくらの彼氏、和也が通りかかっ
6 た。

9 SE スリッパでパタパタと走る音

10 【6】

11 さくら 「【友達に語るような気安い口調で】

12 おかえりー、和也♪。

13 ちゃんとチョコアイス、買ってきて……。

14 ーって、ちよつと、なんでその子がいるの？」

16 SE スリッパでパタパタと迫り来る音

18 【8】

19 さくら 「そりゃ怒るよ！

20 ランドセル背負ったままじゃない！

21 子供が学校から帰ってこなかったら、

22 親御さんが心配しちゃうでしょ？

23 騒ぎになったらどうするの！」

24

1 【 8 】

2 やくら 「すぐ連絡してよね。ほらこれ、連絡先。

3 は？ バカ言わないで。ゲームなんかあと！

4 まずは宿題！

5 終わるまで、和也はあっちで一人で遊んでて！」

6

7 SE 遠ざかる足音

8 SE ドアを開く音、閉まる音

9

10 【 1 1 】

11 やくら 「学校帰りの子をそのまま連れてくるなんて……！

12 君も、どうしてついてきたりしたの！

13 別に和也と仲良くなんて……

14 え？ わたし？

15 あ……そっか。わたしがいるって言われたから……

16 しょうがないなあ、もう。

17 君ってば、わたしのこと大好きなんだから♥

18 おいで。和也の部屋で、宿題しよ」

19

20 SE スリッパでパタパタと歩く音

21 SE ドアを開く音、閉まる音

22 SE ガサゴソ

23 SE ガタッ

24

1 【6】

2 さくら 「うーん、和也の机だと、全然サイズ合わないね。

3 ゴメンね、今日だけ我慢して。

4 うーん…でもなんか、

5 こうして机に向かつてる君を後ろから見てるのって、

6 ちよっと新鮮。

7 いつもはローテーブルで隣同士だもんね。

8 うしろから、ぎゅってできそう。——こうやって」

9

10 SE ギゅっ

11

12 【6 背後から耳元に囁くように】

13 さくら 【耳元へ囁くように】

14 さっきは怒っちゃったけど、

15 君が和也と一緒に帰ってきたときね、

16 わたし、ほんとには嬉しかったんだあ。

17 だって前の授業、楽しかったもん」

18

19 SE 紙のガサゴン

20

21

22

23

24

1 【6】

2 さくら 「ふふ……。思い出しちゃったかな？

3 耳まで真っ赤。かーわい。

4 でも、それはあとね。まずは宿題やつつけちゃおっか。

5 今日は算数かなー。ん？ ないの？

6 プリントは？ 出でない？ ……宿題なし？

7 ……えー……。じゃあどうして、

8 和也を部屋から追い出したとき、

9 君は無言だったのかなー。

10 もしかして……。

11 わたしと二人になりたかった？

12 さつきからソワソワしちゃってさあ。

13 もしかしてなにか、期待しちゃってる？」

14

15 【7】

16 さくら 【「ここから徐々に甘い口調で、耳元に迫るように」

17 どうなのかなあ。わたし、君の気持ちが気になるなー。

18 もしそうだったらさあ。

19 わたしとキス、イヤじゃないよね？

20 ね、お口、あけて」

21

22

23

24

1 【1 デープキス一分ほど】

2 さくら 「ん……。ふう……。嬉し。

3 君、わたしと同じ気持ちだったんだもん……。ん……。

4 いいよ……。君の好きなこと、してあげる。

5 耳、こっち向けて」

6

7 【7 軽くキスしながら】

8 さくら 【言い含めるようなゆっくりした口調】

9 やっぱり耳、弱いんだねえ。

10 耳キスで体ピクピクしちゃって、可愛いなあ。

11 ねえ……。約束、ちゃんと守れてる？

12 私に内緒で、オナニーしてない？

13 よし、えらいえらい♥

14 じゃあ——」

15

16 【7 声を潜めて、内緒話のように】

17 さくら 「今日はこちらでご褒美だね。

18 耳の奥まで、優しくペロペロしてあげる。

19 こっちも——」

20

21 【3】

22 さくら 「こっちも」

23

24

1 【7】

2 さくら 「変な声、出しちゃだめだよ。

3 和也にバレないように、こっそり……ね？」

4

5 【吐息やキスを混ぜつつ耳舐め一分半】

6

7 【7からうしろを回って3に移動しながら】

8 さくら 「ふふ。よく我慢できました。

9 顔が真っ赤だけど、まだいけるよね？

10 次は、こっちね」

11

12 【吐息やキス、「可愛い」など言葉を混ぜつつ耳舐め一分半】

13

14 さくら 「……ねえ。いまってどんな気持ち？

15 【耳を舐めながら吐息を混ぜて】

16 お姉さんの彼氏が、隣の部屋にいるんだよ？

17 えっちなイタズラされて、悪い気持ちになっちゃう？

18 なのに、おちんちん、こおんなに固く膨らむの？

19 変態さんだねえ」

20

21

22

23

24

1 【1】

2 さくら 「あー、その困った顔も、最高にかわいい。

3 和也の話、しないでほしい？

4 お姉さんに彼氏がいるの、いや？ 嫉妬する？

5 じゃあ、君からキスして。

6 和也から、わたしを奪い取る気持ちでさ。

7 ふふ……。でっきるっかなあ。

8 え？ ん！ 【勢いよくキスされて驚く】

9

10 【一分ほどデ IPPキス】

11

12 【1 うつとりと】

13 さくら 「んん……。あ……。ふう……。。

14 強引なキスも上手なんだね。

15 とろとろに、されちゃった。

16 そんなにお姉さんを、自分のものにしたかった？

17 でも、まだダメ。そうだなあ……。。

18 もっともっと君がねえ」

19

20 【3 囁くように】

21 さくら 「わたしだけを見てくれたら、考えてあげてもいいかな」

22

23

24

1 【1 軽くキスしながら】

2 さくら 【誘惑する感じ】もしそうだったら、どうしたい？

3 想像してみて。わたしの体、自由にして……。

4 めちゃくちゃにしたって、いいんだからね。

5 なんでも言うこと聞いちゃうし、なんでもしてあげるよ。

6 でも、……そうなるには、

7 オナニーのときだけじゃなくて、

8 ごはんのときも、お風呂のときも、寝てるときも。

9 どんなときも、わたしだけを考えてくれなきゃ、やだな。

10 だけど、今日はわたしをドキドキさせてくれたから……」

11

12 【1】

13 さくら 「お礼に君のおちんちん、お口で気持ちよくしてあげる。

14 ほら、ちよつと足どかして」

15

16 SE 机の下に潜り込む

17

18 【1 下から】

19 さくら 「机の下から君の可愛い反応見上げるの、高まるなあ。

20 ねえ、今何考えてる？

21 わたしでいっぱい？

22 ほら、ベルト外して。

23 ズボンとパンツ、脱がせてあげるから」

24

1 SE ベルトの金具を外す音、衣擦れの音

2

3 【1 引き続き下から】

4 やくら 「すごい……」

5 反り返って、めちゃくちゃ元気じゃん。

6 固くて……、ピクピクしてる。

7 いまからすること期待して、興奮してるんだねえ。

8 でも、焦っちゃダメだよお。

9 【甘い声でゆっくりと】

10 まずは舌でペロペロして、綺麗にしてあげるから」

11

12 【30秒ほどフェラ】

13

14 やくら 「ん……、ん。ちゅ。

15 わたしの舌、ザラザラするの感じる？

16 こうやって、裏筋をれろーって舐めると……

17 ほら、気持ちいいでしょ？

18 腰、震えてるね。

19 苦しい？ 早く出したい？

20 ペロペロされてるだけじゃイケない？

21 じゃあ前みたいに手で、しこしこってしてあげようか？

22 ……ふふ」

23

24

1 【1 引き続き下から】

2 さくら 「困った顔しなくても、分かってるよ。

3 ちゃんとお口でくわえてあげる。

4 いくよー。…あーむっ…」

5

6 【2分ほど、ピストンフェラ】

7

8 さくら 「はむ…、ちゅ…、んちゅ…。ぷあっ。

9 美味しいよ、君のおちんちん。

10 透明なヌルヌルも出てきてるねえ。

11 もうイキそうかな？

12 やわらかいたまたまも、なでなでもみもみ。

13 ほーら、きもちいね♥」

14

15 さくら 「もう出る？ 出ちやいそう？

16 いいよ、お姉さんのお口に出して。

17 あーむ♥ じゅ、じゅる、じゅるる…！」

18

19 【30秒ほど激しめに、吸い上げる感じのフェラ】

20

21 S E 射精音5秒ほど

22

23

24

1 【1 引き続き下から】

2 さくら 「ん、じゆる……じゆるる……ごつくん。

3 ケホ……。

4 【熱を帯びた口調で】

5 たくさん出たね……。

6 すっごく濃くて、ドロドロで、熱くて……、

7 美味しかった。

8 君も、気持ちよかった？

9 あれえ？ 泣いちゃってる♥

10 涙出るくらい気持ちよくって、ビックリしちゃったの？

11 よしよし、いい子だね。ほら、ズボンはかせてあげる」

12

13 SE 衣擦れの音、ベルトの金具の音

14 SE 机の下から這い出す

15

16 【1↓3 机の下から主人公の隣へ】

17 さくら 「よい……しよっと」

18

19

20

21

22

23

24

1 【3】

2 やくら 「【いつもの口調に戻る】

3 さ、充実した宿題の時間は、そろそろお開きにしようか。

4 また今日みたいな授業、してみたい？

5 ん。もちろん、いいよ。

6 君がわたしのことで、

7 頭をいーっぱいにしてくれたら、ね。

8 約束するよ。君も、約束できる？

9 どんなときも、わたしを考えるって。

10 ふふ。じゃあ、約束のキス、してあげる【ちゅ】

11

1 ■トラック3 カテキョに塗ったシチュー 20分程
2 度

3 場所…主人公の家、ダイニング

4 急遽発生した遠方の法事に、主人公の両親は家を空ける。授業が終
5 わりそれを知ったさくらは、主人公に料理をふるまうが……。

6
7
8 【13から15に移動しつつ】

9 さくら 「【明るく盛り上げるように】

10 お待たせ。」

11 さくら先生特製の、ホワイトシチューだよ。

12 食べやすいように、

13 君が問題解いてる間に冷ましといたよ♥

14 熱いの苦手だったよね？」

15
16 SE テーブルにゴトツと皿を置く音

17
18 【1 となりに座って見つめ合うように】

19 さくら 「はい、あーん。

20 ん？ どうしたの？ 照れてるの？

21 それとも、ほんとに熱いんじゃないかって思ってる？

22 お姉さんが信じられないの？

23 あ、そう。

24 じゃあ、今日はもう帰っちゃおうかなあー」

1 【主人公、慌てて「食べる」と主張する】

2

3 S E 主人公が前のめりになる衣擦れ

4

5 【1】

6 さくら 「ふうん……？ お姉さんに食べさせてほしい？

7 本当に？

8 じゃあほら、お口開けて。

9 あーん」

10

11 S E シチュウをすすする音

12

13 さくら 「美味しい？ よかったあ。

14 ううん。これくらいいいよ。

15 材料費ももらってるし。

16 パパとママ、帰ってくるの明日だけ？

17 親戚の結婚式なんでしょ？

18 君が一人で留守番するって聞いて、ビックリしちゃった。

19 美味しいフルコースとか食べられるかもしれないのに、

20 どうしても家にいたい理由があるんだって？

21 それってえ……」

22

23

24

1 【 1 近づいて 】

2 さくら 「パパもママもいないところで、

3 お姉さんと

4 思いっきりえっちなことしたいって理由かな？

5 ん？ どう？ 違う？」

6

7 【主人公、しどろもどろに】

8

9 【 1 少し離れて 】

10 さくら 「答えられない？

11 ふふ…：ほーら。シチュー食べて。

12 もう一口。あーんって。

13 おっと…：…」

14

15 【 1 】

16 さくら 「あーあ、シチュー、こぼれちゃった。

17 服、汚れちゃったね？

18 洗ってあげるから、ほら、ぬぎぬぎして」

19

20 SE 衣擦れの音

21

22

23

24

1 【 1 】
2 さくら 「こぼれたところ、熱くなかった？」
3 大丈夫？
4 うーん。心配だから、やけどしてないか、
5 お姉さんが確認してあげる。
6 ほら、仰向けになって」
7
8 【 9 馬乗りになって見下ろす距離 】
9 さくら 「鎖骨と、胸板…：それに、可愛い乳首…：
10 んー？ 乳首が膨らんで、
11 赤くなってるのはやけどかな？
12 どう？ 触ると痛い？
13 手のひらでこうやって、すりすりされると、どう？
14 ビクビクしてるのは痛いからかなあ？
15 じゃあ、こうやって…：きゅって摘ままれるのは？
16 あは ♡
17 すごい声 ♡
18 ほーら、両方の乳首、きゅっきゅ、
19 コリコリってしてあげる ♡
20 ねえどう？
21 痛いの？
22 痛いんだったら、やめてあげるけど…：」
23
24

1 【1 ぐつと顔を近づけて】

2 さくら 「そうじゃないなら、ちゃんと言ってくれないとダメだよ。」
3 どう？

4 お姉さんに乳首いじられて、君はどう思ってるの？」

5
6 【主人公「気持ちいいです」】

7

8 【9 馬乗りになって見下ろす距離】

9 さくら 「そっかあ ♡

10 きもちいいんだあ ♡

11 素直に答えられた君に、

12 もっと気持ちいいこととしてあげる。

13 よ……と」

14

15 【シチュー皿からスプーンでシチューを救い、主人公の胸に垂らす
16 わくら】

17

18 SE ボトボト半固形のものが垂れる音

19

20

21

22

23

24

1 【2】
2 さくら 「ふふ…：シチューまみれの君、すごく美味しそう。
3 さつきは君に食べさせてあげてばかりで、
4 私は一口も食べられなかったから、
5 もうおなかぺこぺこなの。
6 君は、わたしのシチューのおさら。
7 ぜーんぶ、わたしが、丁寧に舐めてあげるからね。
8 気持ちよくっておかしくなりそうでも、
9 絶対に動いちゃだめだからね♥」
10
11 【1 やや下から、舐めつつ】
12 さくら 「ん、ちゅ…：じゅる…：はあ…：美味し。
13 乳首、吸ってあげるね。
14 右も…：ちゅ、ちゅる…：れろ…：ちゅ…。
15 左も、じゅる…：ちゅぱ…：ちゅ、ちゅ…：じゅる」
16
17 【左右への乳首舐め1分ほど】
18
19 【1 舌から見上げるように】
20 さくら 「ああ…：君のその、気持ちよくて、不安そうな顔、
21 たまんないなあ。
22 ん、そんな目で見なくても、分かってるよ。
23 君もさわりたいんだよね？」
24

1 SE 体位を変える衣擦れ

3 【さくら、主人公をひっぱり起こしながら仰向けになる】

5 【1 少し離れながら】

6 さくら 「ほら、今度は君が私の上になって。

7 よ……つと。

8 ふふ、そう。上手上手。

9 ブラウスを脱がせて……

10 ブラを外し方は、もう知ってるよね？

11 スカートの中に、手を入れて……そう、それがパンツ。

12 強くひっぱらないで。

13 優しく脱がせて……少しずつ、焦らすみたいに」

14

15 SE 衣擦れ、衣類が床に落ちる音

16

17 さくら 「ん……上手にできたね。

18 スカートの中外、ゼーンぶ君に見られちゃった。

19 ねえ、次はどうしたい？

20 あっ……【胸にシチューをこぼされる】」

21

22

23

24

1 SE ボトボト半固形のもものが垂れる音

2

3 【1 引き続き少し離れ】

4 さくら 「そっか。お姉さんと同じこと、したいんだね。

5 いいよ、好きなところにこぼして。

6 たくさん舐めて♡

7 ん……。やっぱり、おっぱいからいくんだね。

8 君の大好物だもんね……。んっ……」

9

10 【2 やや上から】

11 さくら 「あ、ふ、乳首、ダメ。ああ……。

12 上手……。あ、あ、すごい……。

13 やっぱり君、ん……。舌使いが優しくて、いいよ、あん！」

14

15 【喘ぎ声一分】

16

17 SE ボトボト半固形のもものが垂れる音

18

19 【8 やや上から】

20 さくら 「あ、う、こっちも？ ……う！

21 あ、気持ちいい……。うそ……。

22 【喘ぎながら】優しくて、あ、涙出ちゃいそう……。

23 ん……。！ 甘噛み、ダメ、だよお」

24

1 【喘ぎ声一分】

3 【8 引き続きやや上から】

4 さくら 「ね、もう乳首、綺麗だからあ……。

5 男の子って、

6 みんな和也みたいに乱暴だと思ってたのに……！

7 あ、も、降参……！

8 うう……、んん、【耐えかねたように】えい！」

10 SE 体を床に倒される音（大き目）

12 【9 馬乗りになって見下ろす】

13 さくら 「【息を整えながら】

14 ふう……。これで……。逆転。

15 また、わたしが上になったね。

16 でも、ビックリした。君、上手だったよ。

17 お姉さん、すごい気持ちよかったもん。

18 ……本当はね、もっともっと、ゆっくり、

19 君から好きをもらうつもりだったけど……。

20 我慢、できなくなってきちやった」

1 【3 耳元で 息を吹きかけるように】
2 さくら 「君の童貞、わたしにちょうだい」
3

4 【2】

5 さくら 「アハハ。顔がまた真っ赤になってる。

6 ほら、わかる？

7 スカートの途中で、君と私の大事なところがキスしてる」
8

9 SE ピチャ音

10

11 【9 騎乗位で見下ろすー】

12 さくら 【息を荒くしつつ】

13 ほら。おちんちん、当てがっただけで、分かるでしょ？

14 私のおまんこ、もうびちゃびちゃ。

15 いまからここに、君のおちんちんが入るんだよ。

16 石みたいに固くなった、君のおちんちん。

17 ドキドキしてる？

18 わたしもしてる。

19 ほら、ね？ 胸に触ってみて。

20 心臓、ドキドキしてるのわかるでしょ？

21 怖がらないで。優しくしてあげるから。

22 ん……。は、ああ、あああ」

23

24

1 S E 挿入音

3 【9 奥まで入れてしばし留まる】

4 さくら「…全部はいっちゃった。

5 どう？ おまんこ、きもちい？

6 今らもつと気持ちよくなるからね…あ、ああ……！」

8 S E ピストン（騎乗位なので大きめに）

10 【1分半ほどかけて、ピストンしつつ言い切る】

11 さくら「あっ、あっ。んう！ う、うん…。

12 すごい、やっぱり固い…。

13 あ、あ、君の、顔も、すごい素敵だよ……！

14 これで、童貞卒業だね、おめでと……！ あ、あ。

15 お祝いに、キス、して、あげ、る。【顔に迫る感じで】

16 ん……」

18 【キスハメ一分程度】

24

1 【1】

2 さくら 「どう？ もういきそう？

3 わたしも、もうおまんこ溶けちゃう。あ、あ。

4 はあ、はあ…ああ、いい…

5 きもちい…

6 あ、あ、あ…！

7 も、出そう？ わたしも、イっちゃう…。

8 ん、いいよ、中に出して。

9 ほら、腰…下から突いて…♡

10 奥に当たるように…♡

11 ん、ん、んん！

12

13 SE ピストンはやめて

14

15 【9 騎乗位で仰け反るように】

16 さくら 「あ！ あ！ ん…！

17 しゅごいい…！ イク！ イッちゃうよ！

18 あ、あ、ああ！ いいよ、イク！

19 イクッ！ はああ！ あっ！ ああー！

20

21 SE 射精音

22

23

24

1 【9】

2 さくら 「はあ……はあ……

3 気持ち、よかったあ……。

4 君のおちんちん、すっごい感じちやったよお……。

5 わたしのお腹、君のやらしいお汁でぽかぽかする。

6 こんな初めて。

7 ね、キスしよ……」

8

9 【ねっとりデ IPPキス三十秒】

10

11 【3】

12 さくら 【甘い声で】

13 ほら。ぎゅって抱き締めてあげる。

14 んー……いい子いい子。

15 上手にえっちできたねえ。

16 どうだった？ わたしの中……きもちよかった？

17 あ。まーた目を逸らす。ズルいなあ。

18 どうしても言えない？ 恥ずかしい？

19 じゃあ、感想は、お風呂で聞こうか。

20 体、シチューと、汗と、

21 えっちなベトベトだらけだもんね。

22 おいで、わたしが洗ってあげる」

23

24

1 【3 耳元で】

2 さくら 「そこでもう一回、えっちなことしよ♡」

1 ■トラック4 20分程度

2 場所…さくらの部屋

3 さくらの期待に応えたいと頑張り、テストの成績が良かった主人公。
4 しかし算数のテストだけ最後まで解くことができなかった。

5
6 場所…さくらの部屋

7
8 SE ピンポーン

9 SE 近づいてくる足音

10 SE 玄関開く

11 【6】

12
13 やくら 「やっときたあ！ 待ってたんだよ、もう！

14 ほら、早く早く！

15 テストの点数どうだった？ あ、ダメまだ答えないで！

16 お楽しみは私の部屋で、ね？」

17
18 SE 玄関締まる

19 SE 廊下を移動

20 SE 木製のドア開く

21
22
23
24

1 【 5 主人公の背中を押す】
2 さくら 「さ、入って入って。
3 親に挨拶？ いーのいーの。
4 わたし、ほとんど一人暮らしみたいなものだし。
5 言ってなかった？
6 うちの両親、いつも出張ばかりなんだあ。
7 あ、飲み物何がいい？
8 オレンジジュースね。
9 持ってくるから、ちょっと待ってて。
10 まだ答案出しちゃだめだよ！」
11
12 SE ドア締まる
13 SE 足音フェードアウト
14 間
15 SE 足音フェードイン
16 SE ドア開閉
17
18 【 1 1 】
19 さくら 「おまたせえ！
20 はい、オレンジジュース」
21
22 SE テーブルにゴトリとグラスを置く音
23 SE 隣に座る
24

1 【3 身を乗り出すように】
2 さくら 「【やや緊張】でーどうだった？
3 算数と、国語と、理科のテスト。
4 んん……。ドキドキする……！」
5
6 SE ガサゴソ
7 SE 紙をパサッと渡す音
8
9 【2】
10 さくら 「うん…。うん。
11 んん…。けっこう、
12 【溜めて】…いい感じの点数じゃーん。
13 ホント、よかったあ。
14 だって、わたしが教え始めたたん、
15 テストの点数下がってたらさあ…
16 家庭教師クビになって、
17 もう君と会えなくなっちゃうかも…でしょ？
18 わたしのために、頑張ってくれたんだよね。
19 感動。
20 ね、ぎゅーさせて、ぎゅー」
21
22 SE 衣擦れ
23
24

1 【7 耳元でささやく】

2 さくら 「ん？ どうしたの？

3 ハグじゃ足りない？

4 じゃあ…キスしよっか。

5 ん、ちゅ…」

6

7 【1分ほどデープキス】

8

9 【1】

10 さくら 「ん…、ちゅ。

11 くちびるも、舐めてあげるね。ん…。

12 ふう…。【口調を落ち着けて】

13 ……嬉しいときにするキスも、いいな。

14 君とキスするとね、

15 なんか安らぐんだよねえ。ホッとする感じ？

16 今日は君が頑張ってくれて、

17 気持ちがふわふわしてるし。

18 算数なんて九十点…。…あれ？」

19

20 SE 紙をめくる音

21

22

23

24

1 【3 隣に座っている距離】

2 さくら 「算数のテスト、最後まで解けてないね。

3 集中力、切れちゃった？

4 問題はそんなに多くないのに、惜しいなあ。

5 ……あ、ゴメン。分かってるよ。

6 頑張ったもんね。

7 責めたわけじゃないからさ、寂しそうな顔しないでよ」

8

9

10 【3 耳元で】

11 さくら 「ほら、九十点のご褒美に、

12 君の好きなこと、してあげるからさ。

13 お耳をピチャピチャ舐めて、気持ちよくしてあげる」

14

15 【耳舐め一分】

16

17 さくら 「くちゅ……。ん……。ん……。

18 気持ちいい？

19 ん。いつものお顔になってる。よかったあ。

20 【誘うように】

21 じゃあ次はさあ。

22 集中力のトレーニングしてみない？」

23

24

1 【3 時々耳を舐めながら】

2 さくら 「ふうやって……ちゅ、れろ……お耳を舐められたままあ、
3 時間切れで解けなかったテストの問題を解くの。

4 気持ちよくても集中しないと、問題、解けないよお？」

5
6 【3】

7 さくら 「五分以内に問題、ちゃんと解けたら、

8 【囁く】お姉さんのこと、自由にしていいいよ。

9 どうする？ お、……その目、やる気？

10 お姉さんも頑張るからね。」

11
12 【3↓7】

13 さくら 「次はこっちの耳を、

14 チュクチュクして気持ちよくしてあげる」

15
16 【ゆるゆる耳舐め一分】

17
18 【7 引き続き舐めつつ】

19 さくら 「ん……。くちゅ……。ん……。

20 ふふ。エンピツが止まってるよ？

21 君には難しかったかなあ？

22 くちゅ……。ん……。

23 あ。……えらいね。また手が動き出したねえ。

24 でも、わたしだって本気出すから」

1 【1分責めぎみに耳舐め】

2

3 【7】

4 さくら 「ちゅ、じゅる……ん……んえ？」

5

6 【7 驚き、少し離れて】

7 さくら 「ウソ、できたの！？ ちょ、ちよっと……見せて」

8

9 SE 紙をめくる音

10

11 さくら 「……合ってる……。

12 ……わたし、けっこう頑張ったのに、早すぎない？

13 君の本気、甘く見てたかも……ん！

14 【主人公にキスされる】

15

16 さくら 「ちよっと、いきなりキス……！

17 んん……。ちゅく……。はうう……」

18

19 【テープキス1分ほど】

20

21 【1】

22 さくら 【キスが終わって】ふは……。

23 ふふ……キスだけでふにやふにやに、されちゃった……。

24 あたま、ぽーってなっちゃってる」

1 【3 囁くように】

2 さくら 「ね、ベッド行こ」

3

4 SE ベッドが軋む音

5

6 【16】

7 さくら 「わたしの服、脱がせてくれる？

8 そうそう。ゆーっくりね。

9 ……って、こらっ。ん、あん、スカートまだだよお。

10 あ、おっぱい、あん、乳首吸っちゃダメエ。——あっ」

11

12 SE ベッドにドサッと押し倒す音

13

14 【1 仰向けで見上げる距離】

15 さくら 「押し倒すなんて…

16 大人の男の人、みたい。

17 ううん。自由にしていいって約束だもんね。

18 ふふ。ダメって、そういう意味じゃないよ。

19 大丈夫。乳首、舐めていいからね。あっ……！」

20

21 【主人公の胸を舐められ、喘ぎ声一分ほど】

22

23

24

1 【1 やや上から】

2 やくら 「あうう……。君の、優しいから……。っ。

3 もう本当に、好きになりそ……。あつ！

4 【息を荒げながら】

5 ねえ、ねえ、もうスカートと下着、脱がせて……。。

6 我慢できないよお……。あとは、分かるでしょ？

7 お願い……。」

8

9 SE ベッドが軋む音

10 SE 衣擦れの音

11

12 【1 やや上から】

13 やくら 「ありがと……。。

14 うん、そうやってわたしの足を開いて、

15 足の間に、腰入れて。

16 わかる？ 君におっぱい舐められて、

17 こんなに濡れちゃった。

18 君から入れてくれるの、初めてだね。

19 いいよ。ゆっくり……。ああ……。」

20

21 SE ズブズブ音

22

23

24

1 【3】

2 さくら 「う、あん……。

3 全部入っちゃったよお……。ああ……。

4 うん……。いいよ、動いて。」

6 SE 以降、腰を打ち付けるパンパン音を背景音に

8 【1分ほどあえぎのみ】

10 【1】

11 さくら 「あ、うう、気持ちいい、溶けちゃうよう……。

12 はうう、ダメ、あ、ね、ねえ、チューして、お願い……。

13 ん……」

15 【キスハメ1分程度】

17 さくら 「はっ……。ふ……。。

18 ねえ、もうダメだよ、

19 バカになっちゃう、バカになっちゃう！

20 ん。ん！ ね、ねえ、一緒にイこうよお。

21 わたし、もうちよつとで、あ、あ、あ！」

23 SE 打ち付ける音を速めていく

24

1 【1】

2 さくら 「あ、あん！ ふあ。あ、あ！

3 ああ！ もうダメ！ ダメ！

4 あ、イク！ イツちゃう！ あ、あ、あゝゝ！」

5

6 SE 射精音 5秒程度

7

8 さくら 「う…：、あ…：。気持ち、よかった…：。

9 ねえ、しばらく繋がったままでいようよ。

10 抱き締めて、いい？」

11

12 SE ゴンゴン

13

14 さくら 「ふふ。君をこうしてぎゅっとするの、好きな時間だなあ。

15 …：君も、ぎゅってしてくれる？

16 ん、ありがと」

17

18 【3】

19 さくら 「…：ねえ。

20 ホントに、君を好きになっちゃったかも」

21

1 ■トラック 5 公園、彼氏から隠れて 20分程度
2 場所…大きな公園（近所）
3 休日に和也に遊びに誘われた主人公とさくら。しかし場所は近所の
4 公園。文句を言うさくらだが、その裏に主人公と二人になるための
5 打算が隠れていた。

7 SE 鳥の鳴き声や木の葉の擦れなど外の音

9 【10】

10 さくら 「【やや呆れ口調】

11 よかったねえ、和也。

12 こんな近所の公園に、この子付き合ってくれてさあ。

13 いや、ダメとかダメじゃないとかじゃなくてさ、

14 休みの日に、お姉さんお兄さんとお出かけて言ったら、

15 どっか面白いところ行ってくて思うでしょ？

16 そりゃここ、昔は和也とわたし、よく遊んだけどさ……。

17 もう」

19 SE 衣擦れ

20 【2 主人公と同じ目線で優しく】

21 さくら 「ごめんね。君、退屈だよねえ。

22 和也って子供の頃からこうでさ。

23 みんな自分と同じ感覚って思ってるんだよ。

24 許してあげてね。またどっか連れてってあげるからさ」

1 【3 内緒話をするような囁きで】

2 やくら 「じゃんけんになったら、チョキ出して。

3 和也、パーしか出さないから」

4

5 SE 衣擦れ

6

7 【10 会話を仕切り直す感じ】

8 やくら 「ね、和也。この子、公園でも嬉しいって。

9 だからせっかくだしさあ。昔の続き、してみない？

10 そ、かくれんぼ。

11 和也、一回もわたしを見付けたことなかったでしょ？

12 いまだったら、どうかなあ。お、やる気？

13 負けっぱなしなのに負けず嫌いなあんたの性格、

14 嫌いじゃないよー。

15 じゃあ、鬼、決めようか。じゃんけん！ ポン！」

16

17 SE シュッと腕を出す音

18

19 やくら 「よっし！ 和也が鬼！

20 いい？ 見つけ出すまで時間無制限だからね！

21 二十数えて！

22 ヨーイ！ スタート！」

23

24

1 【3 小声で】

2 やくら 「さ、君もわたしと行くよ」

3

4 SE 駆け抜ける足音五秒

5

6 【15 主人公の手を引いて息切れしながら】

7 やくら 「ここだよ、ここ。わたしのとおき。

8 その倉庫の裏側に入るの。

9 そんなに狭くないから大丈夫」

10

11 SE 草や障害物をかきわけるガサガサ

12

13 【8】

14 やくら 「よいしょっ…と。

15 子供の頃さ、わたしも和也とよくかくれんぼしててね。

16 あいつ、この場所見付けたことないんだ。

17 だからここ、いまはわたしと君だけの秘密の隠れ家。

18 わたし、早く君と二人になりたいくてさ。

19 【声のトーンを落ち着けて】

20 君は、違った？

21 和也に気を使わなくていいからさ、聞かせてよ。

22 そうだ。もし君もわたしと同じ気持ちだったらねえ」

23

24

1 【7】
2 さくら 「じゃ、このカゴを台にしよっか。
3 これに乗ってキス、してくれる？
4 君からしてくれたら、嬉しい♥」
5

6 【1】

7 SE 台に乗るガタツとした音

8 【キス音1分】

9
10 さくら 「よかった。

11 君と気持ちがおんなじって、

12 なんか嬉しいしドキドキするよ……。

13 ふふ。そんな目しなくても、分かってる。

14 今度は、わたしがお返ししなきゃね。

15 お耳、貸して♥」

16
17 【3】

18 【1分半ほど耳舐め】

19

20 さくら 「【耳舐めの一分半の間に、ゝいいいかなあ、まで言い切る】

21 ね、なんかハラハラするねえ。

22 誰かに見つかったちゃうかも……。

23 和也が初めてここに来ちゃったり……。

24 でも、わたしはそれでもいいかなあ」

1 【3から7に回りながら】
2 さくら 「——って言っても、君は困っちゃうよね。
3 しばらくは、こんな感じがいいのかな。
4 さ、じゃあ次はこっち。心を込めてペロペロするね」
5
6 【1分ほど耳舐め】
7
8 さくら 「んん……。【耳舐めを終えて】
9 ねえ、もうズボンの上からでも分かるよ。
10 【1 迫るように】
11 君のちんちん、こんなにおっきくなってる。
12 わたしで興奮してくれたんだねえ。嬉し♥
13 じゃ、今度はお口でしてあげる。
14 ズボン、下ろすよ……。♥」
15
16 SE ベルトのバックルを外す金属音
17 SE ズボンを下ろす衣擦れ
18
19 【1 下にもぐりこむ感じで】
20 さくら 「分かってるよ。
21 まずペロペロして欲しいんだよねえ。ん……。」
22
23 【1分ほど、舐める音】
24

1 【1 引き続き下から】

2 さくら 「ふふ。先っぽからヌルヌルお汁出てきたねえ。

3 じゃ、次はわたしのお口で、かぷつといくよ♥

4 あったかくて気持ちいいの、知ってるよねえ。じゃあ……。

5 んく……。ん……。ん……。ん……」

6

7 【1分ほどフェラ音】

8

9 さくら 「ちゅく……。気持ちいい？

10 ん？ 手、どうしたの？ あ、いいよ。

11 おっぱい、好きだもんね。

12 立つから、

13 【1 主人公とだいたい同じ目線に】

14 服の上からじゃなくて直接接触って♥

15 ボタン、外せるでしょ？」

16

17 SE 衣擦れ

18

19 さくら 「手、あったかいね。ん……。はう……。はう……。

20 ね、乳首舐めて欲しい……。わたし、君の頭撫でてたい。

21 うん、そう。ん、あ……。ん……！」

22

23

24

1 【1 やや上 喘ぎながら、息も絶え絶えに】
2 やくら 「あ、あん……。

3 やっぱ優しく、舐めてくれるんだね。

4 なんか……、切なくてたまらないよ。

5 愛しいって、う……、感じ。

6 うう……。ふ……。♥

7 最初は、ね、君がわたしのものになればいいなって、
8 思ってたんだ。う……。
9 だけど、逆になっちゃったね。

10 こんなに君が愛しくなるなんて、思わなかった……。
11 あん！

12 ねえ。そろそろ、入れて欲しいかも……。

13 平気だよ。ここ、誰も来ないから。

14 わたし、たぶんビショビショになってる。

15 君が、欲しいの……。

16 スカートまくって、パンツ下ろして……。

17 そう……。』

18

19 SE 衣擦れ

20 SE ゴンゴン

21

22

23

24

1 【1】

2 さくら 「いいよ……。

3 わたし壁に手をついてるから、

4 【1 顔が逆に向く】

5 うしろから、入れて」

6

7 SE ズブズブ音

8

9 さくら 「ああっ……！

10 入って、来るう……！

11 【声を抑えるように】

12 う、ふ……。あ、あ、あ♡」

13

14 SE ここから尻に打ち付ける音を背景に

15

16 さくら 「あん、ああ、あん！ ダメエ！

17 ゴメン、ゴメンね、声、我慢できないい。

18 君のおちんちん、おまんこにいっぱいこすれて、

19 わたし、バカみたいに気持ちよくなってるよお。

20 すごいよ、すごい……！ あん！ あん！ あん♡」

21

22

23

24

1 【1 引き続き顔が逆向 喘ぎ声 30 秒】

2 さくら 「ちよつと、あ、ちよつと、待っ……て。

3 和也の、声……。はうつ！

4 【再び声を抑えるように】

5 ダメ、見つかったちゃう。動かないで……。う……」

6

7 SE 打ち付ける音停止

8

9 さくら 「怖い？ 大丈夫だよ。

10 なにがあっても、わたしが守るから。

11 ね、安心のおまじない。キスしよ♥

12 【挿入したまま体を捻り、顔が至近距離に】

13

14 【30 秒ほどディープキス】

15

16 【2】

17 さくら 「ん……。ふ……。

18 【1 顔が再び逆をむく】

19 和也、もう行った、かな？ あん！」

20

21 SE ハッから尻を打ち付ける音を背景に

22

23

24

1 【1 引き続き顔が逆に向く】

2 さくら 「あ、あ、あ！ すご……！ いきなり動くのナシい……。

3 焦らされて、ヤバくなってるからあ。

4 【大きな喘ぎ声三十秒】

5 いや、あん！ 壊れちゃう！ もうムリ……。

6 ね♥一緒にイコ？ いい？ いい？」

7

8 SE 打ち付ける音を速めていく

9

10 さくら 【荒げる息で喘ぎ声を次第に大きくしながら】

11 あ、もうダメ。頭の中、真っ白に……！

12 いや、ダメ、ダメ、ダメ！

13 う、う、うう……！ あ、イク！ ふ、うつ！

14 【体を反らせ】

15 あ、イク！ イッちゃう！ あ！ ああっ！ あーっ！

16

17 SE 発射音

18

19

20

21

22

23

24

1 【1】

2 さくら 「【荒い息】

3 すごかったよ……♥ ね、抱き締めさせて。

4 【1 至近距離】

5 死んじゃうかと、思った……。

6 いつもわたしが、君にご褒美あげてたのにさ。

7 もう、もう側になっちゃったね……。

8 ねえ、キス、欲しい♥」

9

10 【キス音と共に5秒ほどでフェードアウト】

11

12

13

1 ■トラック6 エピローグ 3分程度

2 場所…夕暮れの公園

3

4 SE カラスの鳴き声

5

6 【8】

7 さくら 「ちよつと見てよ、スマホ。和也から。

8 見つからないから帰るって…。

9 信じられない…。友達の家にも誘われたんだよ。

10 いつも自分勝手でさ、やになるね。

11 ……でもお陰で、ずっといちいちやできたから、

12 ま、いつか。

13 もう君んちの門限過ぎそうだし、わたしたちも、帰ろ」

14

15 SE 足音

16

17 さくら 「んー？ どしたの、モジモジして。

18 大丈夫だよ。ちよつとくらい門限過ぎても、

19 わたしと一緒になら怒られないって。

20

21 【主人公、「今日、親いないんだ」】

22

23

24

1 【 8 】

2 さくら 「え？ あ、そっか。

3 今日のパパとママ、仕事で遅くなる日かあ。

4 ふーん、そっかそっか……。

5 それでモジモジしてたのかあ、なあるほど。

6 んー、じゃあさあ」

7

8 【 7 耳元で囁くように】

9 さくら 「これから君の部屋で特別授業、しよっか♥」

10

11

12